

# 農 大

令和4(2022)年度版

令和4年8月30日発行

愛知県立農業大学校



## だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831

E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



作物専攻

## CONTENTS

- 1 専攻紹介 作物専攻
- 2 新入生と校長との座談会
- 3 専攻トピックス
- 4 学生クラブ紹介 (バレー部、フットサル部)
- 5 研修紹介 (農業者育成支援研修)
- 6 トピックス
  - オープンキャンパス
  - 農業機械研修
  - 生産高度化研修 (作物、花き)
  - 幸田町長ご来校
  - 小池牧場から乳用牛の寄贈
  - J A あいち中央から学生に奨学金授与
- 7 お知らせ
  - 令和5年度入学者選抜試験

愛知県立農業大学校  
公式HP



SNS

Instagram



Twitter



## 専攻紹介

# 作物専攻

作物専攻は、12名（1年生6名・2年生6名）の学生が、1haの大規模水田を含む9枚のほ場、計3.3haの水田で水稲・小麦・大豆の栽培・販売実習を行っています。

水稲では「コシヒカリ」、「あいちのかおり」を始め、「ミルキークイーン」や無農薬無化学肥料のお米など、様々な品種や方法での栽培技術を学び、大切に育てたお米は直売で販売しています。

大きな面積の栽培に適したスマート農業の実演も行っており、農機メーカーと協力して、自動運転田植え機、農業用ヘリやドローンの実演も行っています。また、今年度からPFコンバイン（水分・収量・品質を確認しながら収穫できる）を導入しました。

最新の技術に触れながら、食糧生産の根幹を担う作物栽培を学ぶことができるのが作物専攻の魅力です。

4・5月

新学期早々、苗の準備と田植えで忙しくなりますが、遊び心を忘れず楽しく実習に取り組みます！



環境に優しい農業としてレンゲを緑肥に使用したレンゲ米に取り組んでいます



1ha 水田での直播栽培播種

6・7月

田植えが終わって一段落…と思いきや小麦の収穫や大豆の播種が始まります。



大豆・水稲の防除!!  
大変だけど大事な作業です。



小麦の収穫  
(愛知は小麦の単収日本一)

8・9・10月

熟期の異なる多彩な品種の収穫が約2か月間続きます。今年からPFコンバインを導入しました。出来はどうかかな!?

【水稻栽培品種】

コシヒカリ・ミルクークイーン・あさひの夢・愛知135号・あいちのかおり・愛知糯126号・こはるもち・つきあやか



今年初収穫! 美味しい新米をどうぞ!



11月以降

収穫後は次作に向けた水田の準備を行います。ロータリ・プラウ・レーザーレベラー・ハローといった様々な機械を駆使します!!

直売で新米を販売!



もちろん卒論作成・発表会も!!



その他の活動

校外学習で試験場や農業法人、味噌や酒造メーカーを訪問し水稲・小麦・大豆の栽培や加工について学んでいます。また、県外学習で他県の作物生産について学んでいます(R3北海道、R4宮城県)。

また、加工演習として、豆腐・味噌・五平餅作りや餅つきを行っています。作った五平餅や切り餅は農大祭でも販売します。



食味試験



校外学習で試験場を訪問!



県外学習で宮城県を訪問!



収量調査



稲 WCS の視察

特集

2022年新入生 座談会



出席者

司会 鷹羽 靖夫校長  
(1年生)

平井みのり (施設野菜専攻)

小川 滉介 (切花専攻)

吉田 綾音 (酪農専攻)

殿林 誉也 (果樹専攻)



入学のきっかけ

校長：農大に入って生活にも慣れ始めた頃だと思いますが、今日は、1年生のみなさんに、実際に農大に入学してどう思っているのかなど色々とお聞きしたいと思います。まずは、自己紹介を兼ねて農大に入ろうと思ったきっかけを教えてくださいませんか？

平井：施設野菜を専攻しています。家は非農家で兵庫県から来ました。農大に入学したきっかけは、祖父の家庭菜園の手伝いが楽しかったことや、もともと食に興味もあり農業をやりたいと思ったからです。そして、天候に左右されない施設野菜がいいと考え、施設野菜専門の専攻がある愛知県農大に来ました。

小川：切花を専攻しています。家が切花農家で後を継ごうと農業高校に行き、高校卒業後ももっと農業について学びたいと思い、農大に入学しました。

吉田：酪農専攻です。家は非農家で農業高校では養豚を学んでいましたが、酪農を学びたいと思い、農大の酪農専攻を選びました。

殿林：果樹専攻で、家は非農家です。高校は普通科でしたが、昔から体を動かすことや自然が好きで、仕事にするなら農業と思い、農大の果樹専攻に入りました。



平井さん

入学してみても

校長：実際に入学してみてどうですか、思っていたイメージと違いましたか？



小川さん

平井：入学前は不安でしたが、入学してみて周りが皆いい人で安心しました。色々なクラブ活動もあって楽しいです。

小川：先輩が優しくフレンドリーで、一緒に作業していて楽しいです。

吉田：高校では先生がやっていたことを、農大では学生が主体的に考え取り組むので、大きな違いを感じました。

殿林：思っていたより楽しいです。

校長：寮の食事はどうですか？

ほぼ全員：美味しい、特にからあげが好き。もう少し値段が安いと嬉しい。

校長:新型コロナ感染拡大の前は、サラダバーがあったので、早くコロナ前の状態に戻ってほしいですね。  
実習など、学校生活で大変だと思うことはありますか？



吉田さん

殿林:夏の暑さの中での、収穫作業が大変です。  
吉田:酪農専攻では、夏休みの期間、人工受精の講習があり朝の当番が早いことです。

### 今後の楽しみ

校長:大変ですが、暑さに負けずに頑張ってください。  
これから学びたいことや経験したいこと、あるいは楽しみにしていることは何かありますか？

平井:これから始まるプロジェクト学習で、トマトのICT温室で一からトマト栽培に取り組めることです。  
農大祭の食品バザーで大学芋を作りたいです。また、他の専攻と一緒に例えばカレーなどを作ってみたいです。  
小川:農業機械等、色んな資格をとっていきたいです。また、2年生の海外派遣研修が楽しみです。  
吉田:新しくソフトボール部ができること、部員が男女合わせて10名以上集まっています。また、9月から10月の泊まり込みの農家派遣実習で、牧場に行くのが楽しみです。その他にも、秋の収穫感謝祭のバーベキューや農大祭で食品バザーをやることも楽しみにしています。  
殿林:まずは、この1年間でぶどうの栽培技術を学び、プロジェクト活動の内容を決めていきたいです。他には部活動で新しくマーじゃん部ができるといいなと思っています。

### 卒業後の進路

校長:農大祭は楽しみですね。  
最後になりますが、卒業後の進路はどのように考えていますか？



殿林さん

殿林:卒業後は、ブドウ農家への雇用就農を考えています。将来は事業継承によりブドウ農家になりたいです。  
吉田:将来は牛にかかわる仕事がしたいです。まずは、酪農ヘルパー等で経験を積んでいきたいです。  
小川:卒業後は就職して社会経験を積み、その先はまだ決めてませんが、親の後を継いで就農することも考えていきたいです。  
平井:農業法人等に就職して、色んなことを勉強していきたいです。その後は、独立就農を考えています。

### 終わりに

校長:明日から皆さんにとって、初めての夏休みに入ります。1年生は実習当番があるかと思いますが、この期間にインターンシップなど就業体験などしてみるのもいいと思います。

9月には農家派遣実習がありますが、実習先での体験がその後の就職を決めるきっかけになることもあります。1年生の終わり頃から就職活動が本格化するので、この時期からさまざまな体験をして、将来の自分の進路を考えるがよいかと思います。



## 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！



### イチゴの育苗すすむ！ランナーを切り離す

8月も後半に入り、1カ月ほど前にポット受けをしたイチゴ苗のランナーを切り離しました。200株の親株から約2,800本の苗を準備して、9月末からの本圃での栽培に備えます。夏休み中のため、学生は当番の5人と少ない人数でしたが、2日間にかけて頑張っ



### 甘くて美味しいアールスメロンが収穫できました！

4月に定植を行ったアールスメロンが8月に収穫を迎えました。今年は農大では初めて「袋培地」（愛知県が開発した養液栽培用培地）を用いて栽培を行いました。アールスメロンは毎年病害が発生するなど課題の多い品目でしたが、学生の頑張



### 新米に向けていよいよ収穫スタート！

8月19日から稲の刈取りがスタートしました。今年は台風被害も少なく、黄金色の稲穂が輝いています。収穫で活躍するのは、スマート農業を学習するために導入した最新のコンバインです。収穫しながら、収穫の軌跡や水分、タンパク質含量、収量といったデータをクラウド上に蓄積して、解析することができます。ミルキークイーンやコシヒカ





## あいちのぶどうコンテストで、先進農家のブドウを鑑賞しました

8月19日（金）、農業大学校で「あいちのぶどうコンテスト」が開催され、県内各地の生産者のブドウが出品されました。今年は農大の学生が収穫・調製した巨峰（黒色系）、シャインマスカット（青色系）、ゴルビー（赤色系）の3品種を出品（参考）しました。

審査終了後、学生は受賞した生産者のブドウを鑑賞し、粒の大きさや房形の綺麗さに感動していました。写真を撮るなどして、今後のブドウ栽培に役立てようと意気込む姿が感じ取れました。今後、かん水管理や房づくりなど、来年度以降の栽培に活かしていきたいと思います♪



## 夏、雑草、猛暑の中



露地ほ場では、年末向けのハボタンが元気に育っています。しかし毎年この時期、それ以上に元気で困るのが、しぶとい雑草たち。放置するとハボタンの生育に支障が出るため、駆逐するほかありません。草刈り機や除草剤は使えないので手作業で抜いていくわけですが、丁寧にやらないとハボタンを傷つけて枯らしてしまう恐れがあり、集中力が試されます。これに加えて連日の猛暑もあり、作業後は心身ともヘトヘト。専攻室のエアコンと、他専攻からおすそ分けでいただいた果物のおかげで頑張っています。



## シクラメンが順調に育っています

6月から7月にかけて鉢物・緑花木専攻と切花専攻との合同実習で植え替えたシクラメンが、暑い夏をなんとか乗り越えて次第に大きくなってきました。

シクラメンは暑さに弱いので、夏はできるだけ涼しい環境において病気で枯れないように注意して育てます。

今後、肥料をやったり、成長点に日光をあてるための「葉組み」という作業をしたりして生育を促します。すると、農大祭の頃にはきれいな花をたくさん咲かせてくれます。

今は、樋に水をためて鉢底にある紐で水を吸わせる「樋給水」で育てています。「樋給水」は水やり作業の省力化はもちろん、水で涼しくなったり、病気の予防になったりします。

もう、蕾がありました。まだ早すぎです。しっかり手入れしてあげなくては！





## 目指せ AI マスター！

7月22日の夏休み開始とともに人工授精師講習会（AI講習会）が始まりました。酪農専攻の学生は、ほとんどが受講しており、平日の当番生は早朝搾乳から始まり、日中は講習会を受講、夜はまたお世話と大忙しです。平日の多くは講習会で、8月末には資格試験があり、遊ぶ暇がなく大変ですが、合格したら晴れて「人工授精師」を名乗れます。

9月以降は今お世話している牛たちの素敵な殿方（精液）探しに取り組んでみましょう（^^）みんながんばれ！



## プロジェクト研究で夏場対策に取り組んでいます！

30℃を超える真夏日が続いており、繁殖豚への暑熱ストレスによる繁殖性の低下が問題となっています。暑熱期における繁殖性が低下する要因として、雄の精液性状の悪化（精子数の減少、精子奇形率の増加など）がその1つと考えられます。そこで、プロジェクト研究では、雄の精液性状の改善が期待できるサプリメント（アルギニン、ペプチド亜鉛、セレン、にんにく粉末等）を給与し、精液性状等を定期的に調査し、その影響を調べています。



## 水分補給と塩分補給とビタミン

夏休みも終わりに差し掛かり、2年生のほとんどは就職活動を終え、卒業論文等に取り掛かります。久しぶりの飼養管理が心配ですが、1年鍛え上げた彼らならば大丈夫でしょう。一方、1年生はまた一回り大きくなったように感じます。自分たちで考え、連絡・協力し、問題解決する様子を見て、学生を指導する私ももっと頑張らねばと思います。

熱中症の予防は、こまめな水分補給や塩分補給が大切になります。鶏も同様に水分だけでなく栄養補給が必要です。当農場ではビタミン剤を飲ませていますが、このビタミン剤は色がピンクであるため、飲み方や鶏種によっては顔に色がついてしまいます。特に烏骨鶏は顔が毛でおおわれているため、顔がピンクになってしまいます。鶏たちはそんなことは気にせずビタミン剤を飲んでいきます。





## 学生クラブ紹介

### バレーボール部



部員数 31名  
(男子27名、女子4名)

活動日時 木曜日 18:00~

活動場所 体育館



未経験者も気軽に参加でき、メリハリあり賑やかな雰囲気の特徴の部活動です。部員も個性的で優しいのですぐに輪に溶け込めると思います。練習内容は試合中心ですが、人数が少ない時は基礎練習を基本的に行っています。コロナ禍ではありますが、感染対策をしながらバレーボールを楽しんでいます。  
(部長 加藤 慈喜)

### フットサル部



部員数 27名  
(男子27名)

活動日時 水曜日 17:30~

活動場所 体育館



みなさんは運動することが好きですか？僕達は大好きです！毎週水曜日にフットサルを楽しんでいます。9割以上が初心者で、どなたでも参加できます。楽しく運動し、汗を流し、爽快な気分になれるのが、特徴です。良かったら皆さんも僕達と一緒にフットサルを楽しみませんか？  
(部長 大門 昂大)

## 研修紹介

## 農業者育成支援研修



農業者育成支援研修は、就農に必要な技術や知識を習得してもらう、新しく農業を始めたい方を対象にした研修です。

令和4年度は5月20日から約8か月間、定員いっぱいの15名の方々が受講しています。農業を始めたい人なら農地の有無や年齢に関係なく誰でも受講できるため、早期退職で新規参入を目指す人、定年退職を機に親から農地を引き継いで始めようとする人など受講理由は様々です。やりたい農業の規模や形態も、直売所への出荷程度から、会社として農業を経営したい人まで多種多様です。

研修内容は、露地野菜を対象にした週3日（夏期は4日）の実習と講義で、農業を基礎から学びます。実習は共同実習と個別実習があり、午前中は全員で共同実習を行い、午後は各自が責任を持って管理する個別圃場で野菜を栽培します。個別圃場では、自分が作りたい野菜を作れるため、時間を忘れて作業に没頭する姿も見られます。



また、校外学習のカリキュラムも組まれており、新規就農した先輩農家や産直施設、先端技術等の視察を行っています。

## 研修生の声

## ○ 岩瀬 真奈美さん



私の娘は視覚障がいのため、今まで主婦をしながら主人の仕事の補助をしていました。娘も高学年になってきたので、仕事を探そうと思っていた時、近所の方から「畑をやってみないか」と声をかけてもらいました。土など触ったこともない私は、色々な作物を植えてみたものの、全く実がならなかったり枯れたりと失敗ばかりで、「どうして?」という悔しい気持ちから本格的に農業を勉強したい!と思い、農業者育成支援研修に応募しました。

年齢や性別など関係なく、同じ目標を持った15人の仲間で、毎日笑いながら楽しく学んでいます。

娘は将来、就職が困難だと言われていました。私はいつか障がいを持った方たちが就職に困らない場所を、農業を通して作っていきたいと考えています。「農業が人を幸せにする」という事を信じて、家族みんなで協力して地元の農業を盛り上げていきたいと思っています。

## 研修生の声

## ○ 百井 伊智郎さん



JAに勤めていた20年間で農家の後継者不足や高齢化が進み、農業従事者が122万人まで激減するなど農業を取り巻く情勢が年々厳しさを増していく中、就農を決意したのは2年前です。理由は、厳しくも可能性とやりがいに満ち溢れた農業に魅力を感じ、就農への夢が大きく膨らんだことです。そして、何よりも家族と一緒に過ごす時間を大切にしたいと願う妻からの「農業なら一緒にできる。夢を応援したい」という後押しがきっかけでした。

研修では、農業や経営の考え方、人と繋がり、子どもへの継承など、ともに農業を目指す仲間たちの熱い想いが、自身の農業経営の方向性を定める大きな指針にもなっています。

修了後の目標は、慣行栽培による農産物の出荷を主に、有機農業や農福連携にも挑戦することです。そして、日本の農業の未来を担う一員として、今度は私が就農を夢見る人たちの指針になれるよう、これからも日々研鑽を積んでいきたいと思っています。

## トピックス

## オープンキャンパスを開催しました

6月4日（第1回）を皮切りに8月23日（第5回）まで計5回、オープンキャンパスを開催し、合計で279名もの学生及び保護者の方々にご参加いただきました。

校内を巡るキャンパスツアーは、天候にも恵まれて全ての回で実施することができました。また、在校生が参加者からの質問に答える交流会では、専攻実習や授業の内容、クラブ活動、就職活動といったものから寮での生活やアルバイト先など様々な質問に対して、自らの経験を踏まえて率直に（赤裸々に）回答していました。

今年は、寮生活の様子をより知ってもらうため、希望者に寮の食事体験をしていただいたところ、「とても美味しい」との声を多くいただきました。

アンケート調査からも「学生が生き生きとして素晴らしかった」、「農大の雰囲気をよく知ることができた」、「施設や設備がとても充実している」など高い評価をいただきました。



## 農業機械研修 夏休みに資格を取得！

7～8月の夏休み期間中に「刈払機研修」、「小型車両系建設機械研修」、「フォークリフト研修」、「けん引免許研修」を行いました。農作業に必要な（あると有利な）資格や技能を身につけるため、多くの学生が受講しました。これらの研修は実際に農業を行っている方、農業法人に勤めている方なども一緒に受講しており、学生との交流が生まれる一面もありました。



小型車両系建設機械研修



フォークリフト研修



けん引免許研修

## 生産高度化研修(作物)の開催

8月4日（木）、農業総合試験場において「水稲・小麦の病害虫対策と麦・大豆の排水対策」をテーマに、農業総合試験場（実用化技術研究会）と共催による生産高度化研修（作物）を開催し、水田作農家及び関係機関104名の参加がありました。

ここ数年、小麦作においては、「きぬあかり」等の新品種の普及とともに、単収の向上が目覚ましく、愛知県は3年連続小麦単収日本一。

一方で多収を狙い多肥とすることが多く、今まであまり発生がなかった病害が問題となってきています。この研修会では、小麦の赤さび病、黄斑病の防除法について、また、カットドレーンによる排水対策、水稲におけるスクミリングガイ対策について、それぞれ研究成果の発表が行われました。当日は雷があり、最後の作物研究部ほ場の見学は残念ながら中止となりましたが、総合質疑で議論を深めることができました。



## 生産高度化研修(花き:バラ)の開催

8月19日（金）に西三河総合庁舎において「バラの生産安定技術」をテーマに、農業総合試験場（実用化技術研究会）、花き温室園芸組合連合会ばら部会、農業大学校と共催による生産高度化研修（作物）を開催しました。ばら農家及び関係機関33名の参加がありました。

今回の研修は、基調講演を予定していた岐阜大学からの講師が新型コロナの関係で来校できなくなったため、農業総合試験場からの研究成果「栽培環境・光量管理がバラ切花の生産性に及ぼす影響」のみの講演となりました。

総合討議では栽培温度と光量との関係や株養成の考え方などを中心に、栽培のポイントについて討議がなされ、農家からも熱心な質疑が展開されました。

研修会後のアンケートにおいても「大変参考になった」、「光量、遮光管理が勉強になった」との感想が多く出されました。また、「今後も高温期の遮光について継続して研究してほしい」、「次年度は、岐阜大学教授を招いて更に討議を深めたい」との積極的な意見が出るなど、大変有意義な研修会となりました。



## 幸田町の成瀬町長が来校されました

8月17日（水）に成瀬幸田町長が来校され、意見交換を行いました。鷹羽校長から本校の概要を説明したあと、幸田町出身で農業後継者の本校2年生磯部陸斗さん（作物専攻）も参加し意見を交わしました。

磯部さんから、成瀬幸田町長に農大パック（本年度より販売を開始した季節に応じた農畜産物詰合せセット）を紹介し、本校で作っている農畜産物をアピールしました。成瀬幸田町長からは、「幸田町の水稲大規模経営の農業を引き継いでいただけることを頼もしく思います。」と励ましの言葉をいただきました。



成瀬幸田町長（左側）に農大パックをPRする本校学生の磯部さん（右側）

## ようこそ農大へ！乳用牛を寄贈していただきました

6月13日に豊田市の小池牧場さんから成牛1頭、育成牛1頭、子牛2頭の計4頭寄贈していただきました。名前は、成牛が「ウイスキー」、他の3頭は学生たちに名付けられ「アン」、「レム」「ラム」といいます。

ウイスキーは8月分娩予定の妊娠牛で、当初、人に慣れず逃げてばかりでしたが、学生たちが毎日接することで徐々に触らせてくれるようになり、今は同じママ同士、牛仲間とも仲良くしてくれるようになりました。

アンは、珍しいレッド色のホルスタイン種です。農大にやってきて早速、放牧場を駆け回り、仲間の牛とコミュニケーションをとっています。レム、ラムは2匹とも元気いっぱいの双子の赤ちゃんです。人見知りも好き嫌いもなく、何でも食べてすくすく育っています。

そして、ウイスキーが8月7日に無事女の子を産んでくれました。お母さんに似てきれいな子牛です。

小池牧場さん、本当にありがとうございました。立派に育てていきます。



ウイスキーが女の子を出産しました

## 本校学生が「農業後継者育成奨学金」を授与されました

8月18日（木）JAあいち中央主催の「農業後継者育成奨学金」贈呈式が開催され、授与者9名のうち本校から2名が奨学金を授与されました。

石川克則代表理事組合長から奨学生全員に奨学金の目録が贈呈され、各奨学生は就農に向けた力強い抱負を述べました。

将来の地域の中心となる農業者として活躍されることを期待しています。



## お知らせ

### 愛知県立農業大学校

# 令和5年度 入学者選抜試験

#### ●特別推薦入学試験

出願期間 9月13日(火)～9月16日(金)  
試験日 9月29日(木)  
合格発表 10月7日(金)  
試験科目 面接試験  
募集人員：20名程度



#### ●一般推薦入学試験

出願期間 9月28日(水)～10月14日(金)  
試験日 10月31日(月)  
合格発表 11月11日(金)  
試験科目 小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員：定員100名のうち2/3程度



#### ●一般入学一次試験

出願期間 11月10日(木)～11月25日(金)  
試験日 12月9日(金)  
合格発表 12月20日(火)  
試験科目 数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください